

潮来高創立120周年式典

「成長と躍進」誓う

潮来市須賀の県立潮来高校（高野光章校長）の創立120周年を祝う記念式典が22日、同校体育館で行われた。在校生や教職員ら約470人が参加し、さらなる発展へ向け成長や躍進を誓った。

式典では、創立120周年記念事業実行委員長を務める松田千春県議が在校生に向け「節目を一生の思い出にしたい」とあいさつ。高野校長は「地域や社会に貢献できる人材を育成するため、教職員一同で

読めることを紹介し、「自分を動かせるのは自分だけ。たった1回の人生をしっかりと生きてほしい」と訴えた。同校は1905年に私立潮来裁縫学校として開校し、変遷を経て48年に全日制の県立潮来高となった。現在は普通科、地域ビジネス科、人間科学科の3学科に約400人が在籍している。（三上山明里）



県立潮来高で開かれた創立120周年記念式典。潮来市須賀

努力を続けた」と述べた。前期生徒会長で3年の吉田葵さん（18）も「伝統をつなぐために、在学中や社会での成長と躍進を約束する」などと決意を語った。式典後は菓師寺（奈良県）の大谷徹装副住職が「おもしろく生きよう」と題して講演。「運命」を逆にする

11月23日(日)
茨城新聞 18面